

令和3年度

大阪市生涯学習まちづくり市民大学
「いちようカレッジ」報告書



まちづくり 「四たね」



いちよう
カレッジ

OSAKA CITY

まちの魅力を知りたい。まちの課題を解決したい。自分のできることから始めたい。
「いちようカレッジ」は、そんな人と、これからの「まちづくり」をいっしょに考えます。

今年度のいちょうカレッジ参加者

全 **13** コース のべ約 **1,100** 人



いちょう
カレッジ

OSAKA CITY

「いちょうカレッジ」とは

誰もが安心でき、災害に強く、住み続けたいまちをめざして

それぞれがまちの「課題」をもち寄り、まちづくりの「ヒント」をもち帰る。いちょうカレッジがめざすのは、頼れるまちづくりのプラットフォームです。開かれた市民大学として、「学んだことを地域で活かす」をテーマに、学びと実践の循環を実現し、魅力的なまちづくりをサポートしていきます。

「やってみたい」が見つかる、講座・グループワーク・まち歩き体験などをはじめとした、入門科、プレ本科、本科、専科の4つのコースからなる、体系的かつ多彩なカリキュラムで、あなたの学びたい気持ちを応援します。

も く じ



いちょうカレッジの雰囲気を知りたい方へ

大阪のまち・文化コース	4
大阪のまち探検コース	5



これから地域と関わってみたい方へ

まちクリエイト!入門コース	6
大阪の魅力再発見コース	7



学んだことを地域で活かすための全15回

まちクリエイト!実践コース	8
大阪の魅力発信コース	12
本科特別コース まちづくりの種まき	16



地域活動に役立つ知識や技術にみがきをかける

いのちを守る防災コース	18
こどもと地域社会コース	19
まちづくり団体の魅力アップコース	20
伝えるコツを学ぶコース	21
ファシリテーションコース	22
共生社会のまちづくりコース	23
受講実績・アンケート結果	24
次年度のいちょうカレッジ	26



入門科

大阪のまち・文化コース

大阪で身近に触れられる文化について、知り、考え、楽しみながら学びます。

日時 6/23～7/14 毎週水曜日 10:00～12:00 全4回

参加者数 22人(のべ71人)

1

6/23 落語名所四方山噺
落語の演目の舞台となった大阪のまちについて

狐狸窟彦兵衛
上方噺研究家

2

6/30 大阪弁の美学
～味わいの言葉「ええんちゃいます」～
背景にある歴史や文化の説明を交えた大阪弁のお話

前垣 和義
大阪研究家 /
相愛大学客員教授

3

7/7 大阪の「食」のあれこれ
大阪の食や食の歴史、これからの食について
考えなければならないこと

田中 愛子
内閣府官民連携FSRI 代表 /
食育ハーブガーデン協会理事長

4

7/14 近代大阪のまちづくりとアート
大阪の美術館の歴史やまちづくりとアートの関係について

橋爪 節也
大阪大学総合学術博物館前館長 /
大阪大学大学院文学研究科教授

※緊急事態宣言発出に伴い、一部講座日程を変更して実施しました。



大阪のまちについて
落語をとおして学びました(第1回)



身近にある大阪弁のお話(第2回)



近代大阪のまちづくりとアートの
関係について学びました(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- ④ 興味深いテーマで楽しかったです。今後も色々学んでいきたいです。
- ④ よく知っている場所の歴史が分かり、おもしろかったです。
落語とのつながりも興味深いです。
- ④ 何げなく使っている言葉にも起源、由来があるということに改めて考えておもしろかったです。



入門科

大阪のまち探検コース

大阪のまちの歴史の変遷を、座学とまち歩きで楽しみながら学びます。

日時 6/22～7/13 毎週火曜日 14:00～16:00 全4回

参加者数 22人(のべ71人)

1

6/22

近代大阪モダニズム・御堂筋ものがたり

近代大阪の街の発展を、当時の代表的な建築物や
主要な文化・産業と共に学びました

栗本 智代

大阪ガス株式会社
エネルギー・文化研究所
主席研究員

2

6/29

梅田ターミナルものがたり

～大阪駅をめぐる変遷・エピソード～

JR(旧国鉄)大阪駅、阪神阪急梅田駅周辺の
開発の歴史・変遷について

栗本 智代

アシスタント
ますの隆平

NPO法人
すみよし歴史案内人の会 理事

3

7/6

曽根崎心中考 文学の舞台としての大阪

曽根崎心中の物語と、その舞台となった地域の
当時の様子についての解説及び、
「語り部シアター：曽根崎心中」の実演

なにわ慶子

(社)大阪あそ歩 プレミアムガイド/
難波宮遺構ガイド

4

7/13

「曽根崎心中の舞台を歩く」まち歩き

当時のまちの様子を振り返りながら、
曽根崎心中の舞台となった地域をまち歩き

※緊急事態宣言発出に伴い、一部講座日程を変更して実施しました。



古地図を用いて解説(第2回)



語り部シアターの実演(第3回)



まち歩き講座風景(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- ④ 言葉だけ知っているが、よく判っていない大阪のあれこれが学べてとても良かった。
- ④ 案内がないと見逃してしまうようなものがたくさん見られてよかった。
- ④ 梅田周辺の昔と今の変化が詳しく知れて、とても面白かったです。



プレ本科

大阪の魅力再発見コース

講師による大阪にまつわる文化と歴史などのお話や、まち歩きを体験し、大阪の魅力を再発見します。

日時 8/24～9/21 毎週火曜日 14:00～16:00 全5回

参加者数 22人(のべ85人)

1

8/24 まちの魅力を楽しむポイント
大阪は最大の巡礼都市だった
大阪のまちの魅力を紹介と、昔の大阪の文化・風習について

陸奥 賢
観光家/コモンズ・デザイナー/
社会実験家

2

8/31 古墳女子が語る!大阪発の世界遺産
百舌鳥・古市古墳群の魅力
百舌鳥・古市古墳群の紹介と、古墳の魅力・楽しみ方について

松永 友美
地域活性プロモーター

3

9/7 まちづくりとアート:大阪の事例
芸術祭やアートプロジェクトを通して、
まちの魅力や社会的課題に向き合う取り組みの事例紹介

小林 瑠音
神戸大学国際文化学研究
推進センター学術研究員

4

9/14 歩いて発見!まちの魅力を探しに行こう!
昨年度のいちょうカレッジ本科修了生のガイドによるまち歩きの体験

陸奥 賢

5

9/21 東西の近代建築の対比
日本における近代建築の歴史、
東西の建築物の違いとその後の活用について

北夙川 不可止
歌人・コラムニスト



江戸時代の大阪の風習、
七墓巡りについて(第1回)



当時の人たちに想いを馳せる(第2回)



修了生のガイドでまち歩き(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- ① 講師陣がバリエーション豊かで、とても面白かったです。
- ② 講師の方がそれぞれの専門家であり、興味深い内容でした。
- ③ 遠くの観光地もいいけど、身近なまちの魅力を再認識しました。

本科「まちクリエイト！実践コース」 主任講師からのメッセージ

昨年に続きコロナ禍での開催で、受講生の方はもちろん、事務局の方々も、それぞれに配慮した準備や対応が求められる状況だったと思いますが、とてもフレキシブルに対応いただけたと感じています。

私も含めて、各講師としても、お互いに表情が見えない(マスクをしている)ためコミュニケーションをとりにくかったり、オンラインではゲストが参加者のリアルな反響がつかみにくかったりなど、難しさを感じる場面もありましたが、それらをみなさんと1つずつクリアしていくことで、講座自体が進化しながら前進できたのではないかと、振り返って思います。

今回の講座全体としては①大きなゴールよりも小さなゴールを大切に②参加者のニーズやウォンツに寄り添い企画する③参加者だけでなく、講師、事務局にとっても学びとなる場にする、という3つを基本コンセプトにしていました。

①②に関しては、前年度同様に各分野の専門家3名から学べるオムニバス形式を採用しました。15回講座ではなく、4～5回×3フェーズという中期的なまとまりをつくることで、各講師の良さや魅力を活かしながら、具体的なスキルを習得していくことができる構成にしました。また、事例を知る機会をつくりたい、という前年度のリクエストを受けて、オンラインでのゲストトークも実施しました。

③に関しては、前述したとおりコミュニケーション上の課題をクリアすることに加えて、各講師のみなさんにも「小さなトライ」をしてもらうことをお願いしました。具体的には、受講生の様子やリクエストに合わせて、新たなプログラムを設計していただきました。そうすることで、講師としても経験値や知見を得ることができ、受講生にとっても学びの状態に合った内容を受けることができるからです。

結果としては、受講生の皆さんには概ね満足していただけたようで、とても嬉しく思います。また個人的には、受講生の最終発表が印象的でした。1人ひとりのここに至るプロセスや変化の兆しを感じられ、とても心動かされる時間となりました。

一方で、長期講座のため途中で来られなくなってしまう方々もいました。各自の事情もあると思いますが、長期講座だからこそ来られない方へのフォローやサポートの仕組み、オンラインでの参加機会の提供などが、今後は必要になると思います。

最後になりますが、事務局のみなさんには、コロナ禍という特殊な状況の中で、2年間にも渡り共に講座をつくったことを大変ありがたく感じています。これからも様々な課題があると思いますが、次年度以降もここでの成果や課題を活かして講座が素敵になれば嬉しく思います。

大阪の生涯学習の要として、場所にとらわれず、必要な方にこの講座が届くことを願っております。



主任講師
丸毛 幸太郎



本科

まちクリエイト!実践コース「想いをカタチに」講座

自身や団体が抱えるまちづくりへの想いをカタチにする手法を、実践を通して学び、まちづくり活動につなげます。

日時 10/7~1/20 毎週木曜日 19:00~21:00 全15回 受講者数 16人(のべ149人)

1	10/7	オリエンテーション コースの説明と自己紹介ワークを行いました。	丸毛 幸太郎 NPO法人 Co.to.hana コミュニティデザイナー/ ファシリテーター
想いをつなげる「対話の場づくり講座」			
2	10/14	想いをつなげるってどういうこと?対話って何? 想いをつなげるについての説明と、1枚の絵を見て気づいたことや感じたことをグループで話し合いました。	渡辺 悠太 もっと語り合いで学び合おうの会 代表 ファシリテーター
3	10/21	他者との対話で重要なこと、相手の想いを理解するために 相手の想いを理解するためのワークとして、絵を見てのペアワークを行いました。	
4	10/28	複数人との対話の重要ポイント、問いを作ってみよう ゲスト講師の話を聞いて、「問い」を考えるワークを行いました。	渡辺 悠太 <small>オンライン登壇</small> 丸毛 幸太郎 <small>オンライン登壇</small> 貴島 道拓 <small>オンライン登壇</small> 福岡テンジン大学 理事
5	11/4	学びの振り返り、みなさんが考えたい問いとは? 「良い問い」について考えるワークを行い、想いをつなげる対話の場づくりについて振り返りました。	渡辺 悠太
想いを見る化する「ファシリテーション・グラフィック講座」			
6	11/11	話し合いの見える化ってなんだろう?ー描くコツー 見える化についての説明と、実際に描いてみることにより、描く基本を学びました。	山本 彩代 NPO法人 場とつながりラボhome's vi ファシリテーター/グラフィッカー
7	11/18	言葉になっていないものを見る化するには?ー想いやイメージを引き出すー 5年後の自分についてのコラージュを作り、自分の想いやイメージを表現しました。	
8	11/25	実際に目の前で繰り広げられるトークを見る化してみようー準備と実践ー ゲスト講師からチャリティショップふくるんについての話を聞き、その内容について描くワークを行いました。	山本 彩代 丸毛 幸太郎 <small>オンライン登壇</small> 清田 仁之 <small>オンライン登壇</small> NPO法人 月と風と代表/チャリティショップふくる
9	12/2	見える化してみたものを振り返ろうー講評とワンポイントアドバイスー 前回作成したグラフィック・レコーディングの講評と、想いを見る化することについて振り返りました。	山本 彩代
想いを伝える「プレゼンテーション講座」			
10	12/9	「プレゼン」って何かについて理解しよう! 今住んでいる町(区)が自分の出身地について、自由にプレゼン内容を考え、グループ内でプレゼンを行いました。	
11	12/16	「プレゼン」の材料を元にレシピを作ろう! 今住んでいる町(区)が自分の出身地について、魅力を向上させるためにはどうしたら良いかを考え、グループでさらに良いアイデアを出し合いました。	坂 彬光 坂彬光制作事務所 代表/ 資料作成・Webディレクター
12	12/23	「プレゼン」のレシピを発表しよう! 地域の魅力を一つに絞り、魅力を向上するアイデアをグループ内で出し合い、プレゼンレシピを作成し、プレゼン発表を行いました。	
13	1/6	(ゲストの話を聞いて)プレゼンのレシピを考えよう! ゲスト講師からダイバーシティサッカーについての話を聞き、それについてのプレゼンレシピを考えました。	坂 彬光 丸毛 幸太郎 <small>オンライン登壇</small> 川上 翔 <small>オンライン登壇</small> NPO法人 ダイバーシティサッカー協会 理事
14	1/13	プレゼンレシピを発表する グループ内で前回のゲストトークの内容を共有し、グループ毎にダイバーシティサッカーについてのプレゼンレシピを考え、発表しました。	坂 彬光
15	1/20	全体ふりかえり・まとめ 「想いをカタチ」にするために大切なことをまとめ、プレゼン発表をとおして学びの成果を共有しました。	丸毛 幸太郎 <small>オンライン登壇</small>

主任講師から一言

- ◆ 今回の講座は、想いをカタチにするための3つの要素「つなげる」「見える化」「伝える」を、「対話の場づくり」「グラフィック・レコーディング」「プレゼンテーション」という実践を通して学ぶプログラムでした。学ぶ上で「実践しながら学ぶ」「カタチにしながら学ぶ」「自分ごと化して学ぶ」の3つを大事にしました。

講座風景



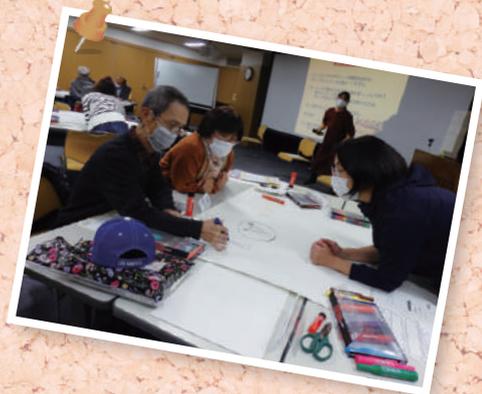
主任講師 丸毛さん
オリエンテーション



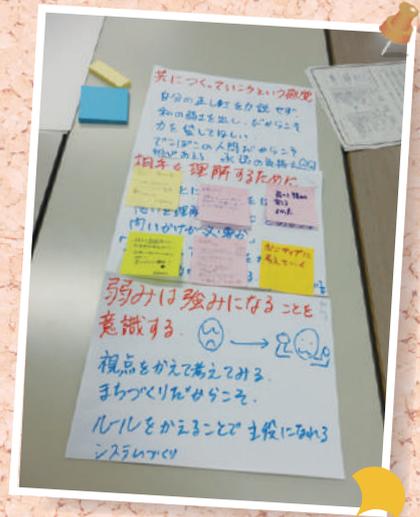
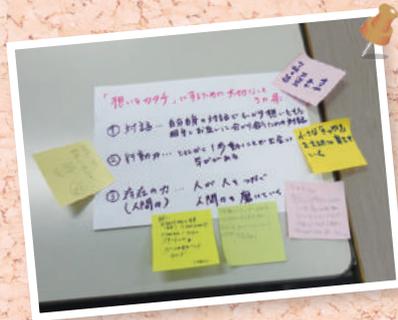
「5年後の自分について」コラージュ作り



グループでのプレゼン発表



制作物と最終発表



受講者の声 (アンケートより)

- ① いろいろな方の発表が聞けて、自分も発表して、回を重ねることで、形ができてくる感じがしました。
- ② 考える力が身についた。
- ③ トークイベントで、いいお話が聞けてよかったです。

本科「大阪の魅力発信コース」

主任講師からのメッセージ

大阪の魅力発信コースは「インプット」と「アウトプット」を意識して取り組んでいます。インプットでは大阪のまちを舞台に多種多様なプロジェクトを展開している講師の方々に来ていただいて、その活動をご紹介して頂きました。「団地」「アート」「メディア」「コミュニティ・デザイン」といったテーマが取り上げられて、受講生のみなさんにも刺激的な時間になったようです。

アウトプットは僕が考案した写真編集遊びの「フォトスゴロク」を用いて、「まち歩きスゴロク」の作成に取り組んで頂きました。

まず受講生を4班にわけて、それぞれの班で、どこのまち歩きコースを作成するか？の希望を出して対話をしてもらい、結果、1班は「住吉・帝塚山」、2班は「天神橋筋」、3班は「船場の食」、4班は「新世界・四天王寺」となりました。

その後、何度もリサーチで現地を訪れ、自分たちで資料を集め、写真を撮り、ルートを作成し、スゴロク作りに取り組んで頂きましたが、各班とも素晴らしいまち歩きスゴロクが完成しました。完成後は、それを用いて、実際にまち歩きガイドも行いました。

1班は住吉東の弁天塚古墳を出発して、熊野街道を北上して帝塚山古墳まで、歴史遺産を辿るコース。2班の天神橋筋は商店街、繁華街巡りというもので、賑々しいまち歩きでした。3班は船場グルメの老舗、名店、和菓子屋などをご紹介していくコースで、食欲を刺激されるまち歩きに。4班はあいにくの雨で大変でしたが、新世界から四天王寺まで登り、上町台地の高低差を実感するコースでした。それぞれ、実にバラエティ豊かなまち歩きコースとなっていて、この4つのコースだけでも、大阪という都市の万華鏡のような面白さが伝わるのではないかと思います。

去年はコロナの影響で、まち歩きガイドの実践までではできませんでしたが、今年は実践までやることができ、感無量の一年となりました。

みなさま、本当におつかれさまでした。



主任講師
陸奥 賢



大阪の魅力発信コース

まちの魅力を掘り起こすための講座・グループワークや、まち歩き体験・まち歩きガイドの実践を通して、大阪の人と街の魅力を伝えるためのはじめての一步を踏み出します。

日時 10/12～3/1 火曜日 14:00～16:00 全15回

受講者数 21人(のべ214人)

1	10/12	オリエンテーション 自己紹介とまち紹介 コース全体の説明と自己紹介のワークショップ	陸奥 賢 観光家/コモンズ・デザイナー/ 社会実驗家
2	10/19	まちの魅力は住民さん!? 団地のストック活用のご紹介 泉北ニュータウンの茶山台団地の活性化の取り組みの紹介と、 人と人がつながるまちの魅力について	湯川 まゆみ 特定非営利活動法人SEIN 代表理事
3	10/26	落書きとアートの境界線はどこにある?～まちを美術館にするまち歩き～ 「まちに愛着を持ってもらう」ための、パブリックアートを活用した まちづくりの取り組みと、その魅力について	山本 あつし 事業プロデューサー/ 大阪芸術大学デザイン学科講師
4	11/2	まちの魅力を伝える三種の神器 地域の広報誌の事例から見る、情報を発信する際の3つのポイントについて	藤田 ツキト 株式会社シカトキノコ
5	11/9	まち歩きにでかけよう① 大阪まち歩き大学のコースを歩く 主任講師によるガイドでまち歩き(森之宮～玉造)	陸奥 賢
6	11/16	こんな時代にこそ見つけよう!身近なまちの魅力 まちの魅力を見つけるための様々な視点の紹介と、チラシ作りと 情報発信のコツについて	神庭 慎次 studio-L
7	11/30	まち歩きスゴロクの紹介/まち歩きガイドのコツ 過去のまち歩きスゴロクの紹介と、作成するコツ・ポイントの解説	
8	12/7	まち歩きにでかけよう② 大阪まち歩き大学のコースを歩く 主任講師によるガイドでまち歩き(玉造～鶴橋)	
9	12/21	ワークショップ まち歩きスゴロクの制作① グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作	
10	1/25	ワークショップ まち歩きスゴロクの制作② グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作	陸奥 賢
11	2/1	ワークショップ まち歩きスゴロクの制作③ グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作	
12	2/8	最終発表	
13	2/15	「チャレンジ!まち歩きガイドの実践!」	
14	2/22	各班で作成したまち歩きスゴロクを使って、現地でまち歩きのガイドに挑戦	
15	3/1		

主任講師から一言

- 今年「船場の食」を取り上げる班がいましたが、来年度は「エリア」だけでなく「テーマ」を持ったまち歩きスゴロク作成、ガイドも面白いかも知れないと考えています。

講座風景



オリエンテーション
はじめてのグループ打ち合わせ



まち歩き 歴史解説
(玉造稲荷神社にて)



まち歩きスゴログ制作風景



最終発表

班に分かれて気になるまちを取材し、まちの魅力や見どころを詰め込んだ「まち歩きスゴロク」を作成し、それぞれのコースでまち歩きを行いました。

1班：「もっと住吉」（住吉）



2班：「天満宮と歴史・味めぐり」（天神橋筋）



3班：「なにわの食文化をめぐる」
～老舗からミシュランまで～（北浜・船場）



4班：「この世からあの世…
—俗から聖—」（新世界）



受講者の声（アンケートより）

- ④ 様々な内容でコースが充実していました。
まち歩きスゴロクを作って他の参加者にガイドをしたことは新鮮でした。
- ④ 実際のまち歩きを楽しむことができ、色々な人と知り合うことができた。

本科特別コース「まちづくりの種まき」

主任講師からのメッセージ

昨年、いちようカレッジより、「来年度は、これまでの学びの場であったセンターを飛び出し、リアルなまちの中にも学びの場をつくっていききたい。」というお話をいただき、ぜひその場づくりのお手伝いがしたいという想いが実り、今回の講座が実現しました。

現在、コロナ禍ということもあり、大阪市北区全域の各地域では、リアルな場での地域行事は止まっていることも多いですが、本企画を私が暮らす中津地域の連合振興町会長に相談したところ、「コロナ禍でもできることを考えてやっていきたい。地域を知ってくれて関わってくれる人を増やすことは、活気あふれるまちの姿にもつながる」と、今回の提案をととても喜んでいただき、受け入れてくださいました。

講座を開催したことで、私にも学びが多くありました。それは、参加者の方それぞれが、まちに関わる立ち位置、目的、直近の目標や課題がそれぞれ異なる中でも、この講座を受けていただいた後、具体的なアクションにつながったり、気持ちの変化が生まれたことです。

私が今回、「種まき」で大切にしたいことは、まちづくりというものは、本来楽しみながらするものであり、ワクワクする活力の源をつくるのにベストなコンテンツであることを皆さまに知ってもらいたかったことです。一方で、地域活動をされている一部の方からは、「まちに関わると疲れる」「ボランティアなんて続けられない」という言葉を聞くこともしばしばあるのですが、なぜ疲れるのか、ボランティアと仕事の境目はどこなのか、をちゃんと自分の中で整理をすれば、ソーシャルな活動は社会性、協調性、人間性までも形成してくれる素晴らしいものであることに気づくと思います。

実際にこの「まちづくりの種まき」講座を受けた方の参加前と参加後のアンケートでは、たった4回でも変化があり、センターで花を咲かせ、たんぼぼの綿毛のように各地域へと飛んでいくような姿が目に見えようでした。

令和4年度からは、「まちづくりの種まき」は本科での開催となり、私は主任講師として関わらせていただくことになりました。私は、現在3人の子育てをしています。一般企業で働いていた時、「マーケティング」「販売促進」の専門的な責任者として「経営戦略」を行ってきました。そのノウハウと、現在の私の仕事である「福祉と暮らし」を地域と掛け合わせて、「地域マーケティング×福祉」の観点から、地域活動を楽しみながら行う手法についてお伝えしたいと思います。



主任講師

山田 摩利子



本科特別コース「まちづくりの種まき」

大阪市北区中津地域の実践事例をもとに実際のまちづくりの現場と関わり、まちづくりの本質について学びを深めます。

日時 11/13～12/18 土曜日 全4回

受講者数 20人(のべ61人)

1

11/13

10:00～13:00

まちづくりの種まき

～中津のまちづくり実践活動について～

講師の地域での取り組みの紹介と参加者の自己紹介

山田 摩利子

一般社団法人うめらく代表理事・
地域コーディネーター/インキュベーター/
コミュニティーガーナイザー

久米 昌彦

東邦レオ株式会社/株式会社NI-WA

2

11/20

10:00～13:00

まちを知り、まちづくりを考える

～梅田から中津のまちへ行ってみよう～

前半は座学で中津について知り、
後半はセンターから中津へまち歩きを行なった。

3

11/27

10:00～15:00

まちの人と関わろう

～まちづくりを通して自分を知るワーク～

中津で菜の花の種まきとまち歩きを行ない、
まちの防災課題や解決策を考えた。

山田 摩利子

4

12/18

10:00～12:00

これから広げる、広がるまちづくりの種

～振り返り&交流会～

まちづくりについて考えたことの発表と講座のまとめ



座学と実際のまちで
まちづくりについて学びます(第2回)



中津で菜の花の
種まきをしました(第3回)



まちづくりについて
考えた事を発表(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- ⑩ 座学でない講座で、楽しくまちづくりを学ぶことができた。
- ⑩ 色々な立場、視点からのまちづくりへの思いを知ることができてよかったです。
- ⑩ 今回中津をあるいてみて、あるくことによって、防災の課題がみえてきたと思います。



いのちを守る防災コース

災害時に役立つ考え方や、防災に関する知識を深め、
一人一人の防災力を高めて「災害に強いまちづくり」をめざします。

日時 7/3～7/31 毎週土曜日 14:00～16:00 全5回

受講者数 21人(のべ80人)

- | | | | |
|---|------|--|---|
| 1 | 7/3 | コミュニティで備える大阪の防災
日本各地の被災状況の事例から見る、大阪における災害時のリスクや、被害を抑えるために地域で取り組むコミュニティ防災について | 生田 英輔
大阪市立大学 大学院
生活科学研究科 准教授 /
大阪市立大学 都市防災
教育研究センター 副所長 |
| 2 | 7/10 | 災害時のこころのケア
～わたしたちができることから考える～
災害時などに被災者や被害者が受けるこころのストレスと、その回復のために支援者に求められる基本的な考え方、心構えについて | 大沢 智子 オンライン登壇
兵庫県こころのケアセンター
上席研究主幹/臨床心理士 |
| 3 | 7/17 | 楽しみながら夢中になって学ぶ、新しい防災教育のカタチ
～イザ!カエルキャラバン!の紹介と防災イツモ講座開講!～
地域で活用できる、様々な防災プログラムやイベントの手法の紹介と、地域で実際に取り組んだ防災プログラムの事例について | 永田 宏和
防災プロデューサー/
NPO法人 プラスアーツ理事長 |
| 4 | 7/24 | 地域防災のキーは「やさしさ」
～トライ&エラー、誰もがができる地域の防災～
子育てをしながら気づいた「地域防災の素朴なギモン」を解決するためにこれまでに取り組んできた、地域防災の事例の紹介。 | 一般社団法人
あおぞら湯 |
| 5 | 7/31 | コロナ×防災対策 ～身近な対策でいのちを守ろう～
分散避難、感染予防グッズの準備、避難所での感染予防対策など、「災害後の感染予防」の視点をふまえた防災対策について | 岡本 裕紀子 オンライン登壇
防災士/防災クリエイティブ
マネージメント 防災アドバイザー |



国内の自然災害事例を学ぶ(第1回)



猫砂を使った非常用トイレの
ワークショップ(第4回)



オンライン登壇も実施しました

受講者の声 (アンケートより)

- ④ 毎回違う先生から、様々な視点から防災のお話が聞けて良かった。
- ④ 防災について新しい発見があり、本当に勉強になりました。改めて防災活動の大切さを感じました。
- ④ 地域で行う防災訓練の参考になりました。



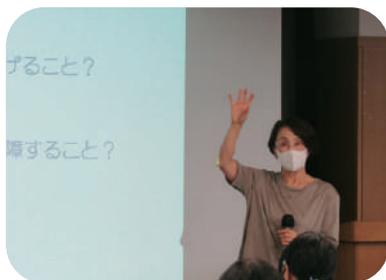
子どもと地域社会コース

子どもを中心とした地域のつながりづくりや子どもに関わる地域課題の取り組みについて、さまざまな事例を通して知識を深め、地域での活動へのヒントを得ます。

日時 9/11～10/9 毎週土曜日 10:00～12:00 全5回

受講者数 36人(のべ94人)

1	9/11	地域の学校を全ての子どもの安全基地に 大阪市立大空小学校のお話と地域住民が学校や子どもたちと関わることの大切さについて	木村 泰子 大阪市立大空小学校 初代校長
2	9/18	地域と学校がつながって取り組む 多文化家庭への支援 Minami子ども教室の設立の経緯や現状、 コロナ禍での取り組みについて	原 めぐみ Minami子ども教室 副実行委員長/ 和歌山工業高等専門学校准教授
3	9/25	繊細な子ども「HSC」ってなあに？ HSCの特徴や周りの大人ができる当事者が感じる しんどさへの対策などについて	熊川 サワコ 豊中市登録市民公益活動団体 ほくせつまめの木副代表/ とよなかHSP情報会
4	10/2	コロナ禍を生きる子どもたち 家庭が安全安心でない貧困や虐待課題を抱える 子どもたちに地域でできることについて	幸重 忠孝 スクールソーシャルワーカー/ 特定非営利活動法人子ども ソーシャルワークセンター理事長
5	10/9	スマホ時代の子どもたちのために 子どもたちがネットを使用する中で起こりうる問題や、 その対策について	富田 幸子 (一社)ソーシャルメディア研究会 チーフ研究員/甲南女子大学講師/ 京都府警察ネット安心アドバイザー



講師:木村泰子さん(第1回)



HSC・HSPIについて学びました(第3回)



地域で子どもたちに
できることのお話(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- ① 子どもたちの現状の理解や声かけの仕方、具体的な方法を知る事ができました。
- ② 木村先生のお話しに引き込まれました。子どもたちをまもるため、
地域をまもるため、何ができるのかを考えさせられました。
- ③ スペシャルなことを…ではなく当たり前のことをしていきたいと思えてとても良かったです。



まちづくり団体の魅カアップコース

まちづくりにつながるグループ・団体の活動における、活動資金集め・活動方針づくりや、活動を広めるための広報のコツを学びました。

日 時 11/5～11/26 毎週金曜日 19:00～21:00 全4回

受講者数 17人(のべ65人)

1	11/5	「応援」してくれる人を増やす！ 活動資金を集めるファンドレイジングを学ぼう 活動資金を集めるためのファンドレイジングに 大切な考え方と、上手くいくためのコツについて	岡本 卓也 有限責任事業組合 まちとしごと総合研究所 レジリエンス・シンカー/ 東山いきいき活動センター センター長
2	11/12	共感してもらえる、魅力的な団体活動をめざして 行政や地域からの共感を得て、広く参加を促すことのできる 団体になるための、活動方針づくりや団体運営のコツについて	石原 敏孝 株式会社いきいきライフ 阪急阪神 代表取締役社長
3	11/19	あなたの活動を「スキ」になってもらうための 「ステキ」な広報 活動に対する想いを伝えるための 「共感を得る広報」の様々なポイントについて	尾関 栄二 株式会社 ユナイテッド・トゥモロー
4	11/26	関わる人を笑顔にする 「プロジェクトの作り方&プレゼンのコツ」 相手に関心を持ってもらう企画づくりのコツと、 人前で上手に話すコツについて	中川 悠 NPO法人チュラキューブ代表理事/ 株式会社GIVE&GIFT代表取締役



活動に共感してもらうために
必要なこと(第1回)



活動に参加したきっかけの
再確認(第2回)



人前で上手に話すための
ワークショップ(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- ④ ワークショップでたくさんつながりができました。
- ④ ユーモアと具体性がいっぱいで、自然と内容が入ってきました。
- ④ 具体的に判りやすく、ワクワクの2時間でした。もう一度この4回の先生と関わりたいです。



伝えるコツを学ぶコース

市民活動や地域活動の場で活かせるように、より良い伝え方を多角的に学びました。

日時 1/22～2/19 土曜日 14:00～16:00 全4回

受講者数 24人(のべ75人)

1	1/22	プロが教える伝え方のコツ! 放送業界に長らく在籍した講師が、 伝えるコツをわかりやすく紹介しました。	大谷 邦郎 情報発信コンサルタント/ ジャーナリスト
2	1/29	手話から学ぶ非言語コミュニケーションとは? 手話を通して、表情やジェスチャーなど、 言葉によらないコミュニケーションを学びました。	大谷 邦郎 手話エンターテイメント 発信団 oioi
3	2/5	伝える先を想像し、配慮する! ～これがダイバーシティ～ 様々な価値観が存在することへの理解を深め、 相手の立場に寄り添った伝え方を学びました。	大谷 邦郎 元村 祐子 Office UnBalance 代表
4	2/19	学んだことを活用してみよう! 講座に参加した感想の発表と、講師によるパネルディスカッション。	大谷 邦郎 手話エンターテイメント 発信団 oioi 元村 祐子



主任講師 大谷 邦郎さん



oioiさんと一緒に
楽しく手話を覚えました



大谷さんと元村さんのトークライブ

受講者の声 (アンケートより)

- ① 楽しく、学びの多い内容で本当に良かった。
- ② 改めて、相手を思いやって話をしようと思いました。
- ③ もっと知りたいと思える内容で、自然と前のめりに聞き入るようになりました。



ファシリテーションコース ホワイトボード・ミーティング®で元気になる会議

ホワイトボード・ミーティング®を通い、実践を繰り返すことで場が温まる
ファシリテーションのコツを学びます。

日時 10/16~10/30 毎週土曜日 13:30~16:30 全3回

受講者数 19人(のべ46人) **会場** 阿倍野市民学習センター

1 10/16

話し合いの場を整えましょう

まず自己紹介から始まり
コミュニケーションと学びあう関係を育みます。

2 10/23

みんなが納得できるスピーディな合意形成

グループワークを通じてホワイトボード・ミーティング®の
基本的な進行を学びファシリテーション技術を身につけます。

3 10/30

チーム力がアップするファシリテーション

色々なシチュエーションに対し実践を重ね
ファシリテーション力を高めていきます。

奥西 春美

株式会社ひとまち/
看護師・精神保健福祉士/
元看護学校教務主任



まずは自己紹介から(第1回)



ファシリテーションについて(第2回)



グループワーク・実践を重ねて(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- ④ 実践がたくさんあったので口下手な私も発言の回数があり、自信になりました。
- ④ いろいろ実践的にして、実際のイメージがわかりやすかった。
時間も長く良く学ぶことができてよかった。
- ④ 実習中心でよく理解できました。



共生社会のまちづくりコース

商店街を起点とした“共生社会のまちづくり”について、福祉・地域コミュニティ・ビジネスからの生きた取組みの事例を学び、実現するための課題とその解決策を講師とともに考え学びました。

日時 10/2～10/16 毎週土曜日 13:30～16:30 全3回

受講者数 8人(のべ16人) **会場** 難波市民学習センター

1

10/2

外部環境よりも内部環境に目を向ける

障がいの理解や共生社会に関する共通認識、障がい福祉からの取組みの事例を学び、「自分のまちのいいところ探し」を行いました。

主任講師

今井 司

Share de たかつき 代表/福祉家

講師

江澤 由

イベントコンサルタント

2

10/9

繁盛の常識を見直す

沈んだシャッター商店街を活性化させるための、生の「まちの可能性探し」を行いました。

小笹 清

一般社団法人ハレマチフジイデラ代表/
地域づくりパートナー

3

10/16

地域資源を見渡す

いまある資源を生かしたこれからのまちづくりとは何か。様々な取組みの事例から、まちづくりの「課題解決探し」を行いました。

木戸 美伸

行政書士/
ヒト・コト・モノの見える化サポーター



主任講師 今井 司さん



まちの可能性を探す(第2回)



これからのまちづくりについて(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

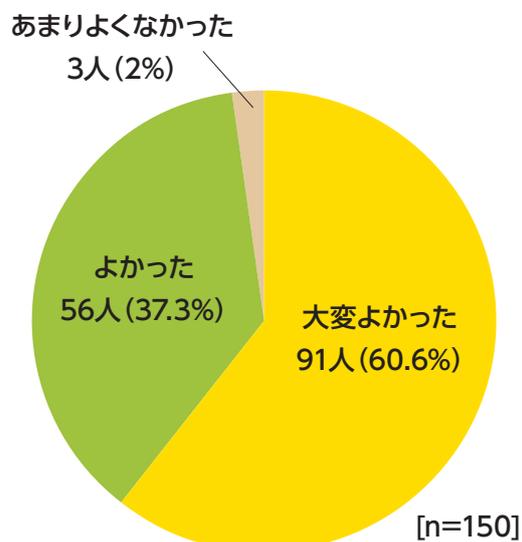
- ④ 障がい者の共生について学ぶことができました。
- ④ 講義内容もよかったですし、参加者の意見もワークショップを通して知ることができました。
- ④ 具体的な事例が多く学ぶことが多かったので、何か一つでも活かしていきたいと思います。

【令和3年度 いちょうカレッジ アンケート集計結果】

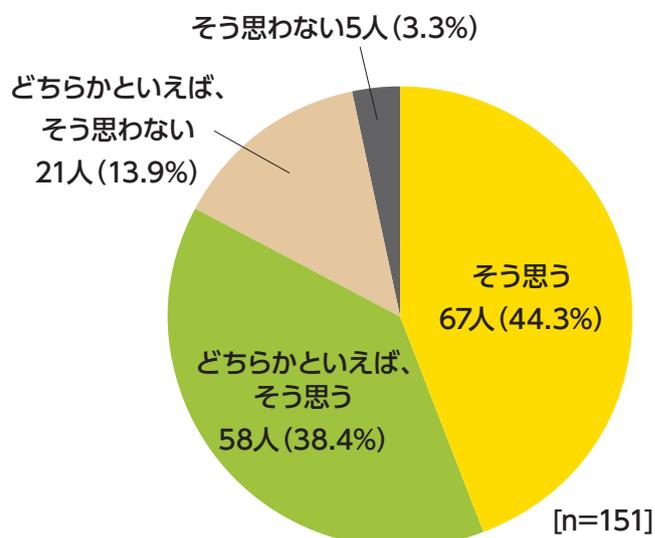
いちょうカレッジ受講実績

	コース名	定員	応募者数	受講者数	のべ受講者数
入門科	大阪のまち・文化コース	30人	62人	22人	71人
	大阪のまち探検コース	23人	64人	22人	71人
プレ本科	まちクリエイト!入門コース	23人	21人	17人	61人
	大阪の魅力再発見コース	23人	102人	22人	85人
本科	まちクリエイト!実践コース	20人	17人	16人	149人
	大阪の魅力発信コース	20人	30人	21人	214人
	特別コース「まちづくりの種まき」	20人	20人	20人	61人
専科	いのちを守る防災コース	23人	28人	21人	80人
	こどもと地域社会コース	30人	36人	36人	94人
	まちづくり団体の魅力アップコース	23人	20人	17人	65人
	伝えるコツを学ぶコース	30人	79人	24人	75人
	ファシリテーションコース	30人	21人	19人	46人
	共生社会のまちづくりコース	16人	11人	8人	16人
合計		311人	511人	265人	1088人

Q 講座の満足度はいかがでしたか？



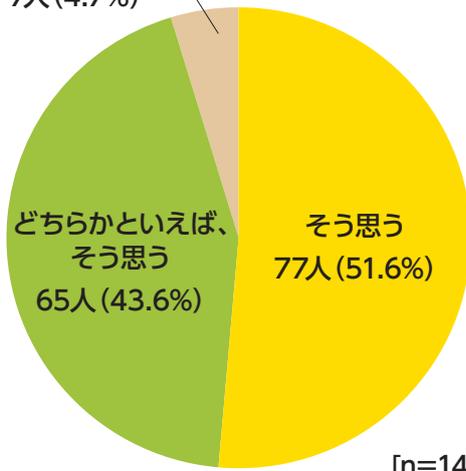
Q この講座で学んだことを活かして、ボランティア活動やグループ活動に関わりたいと思いますか？





この講座を通して学んだ内容や関係するテーマなどについて、引き続き学習を続けたいと思いますか？

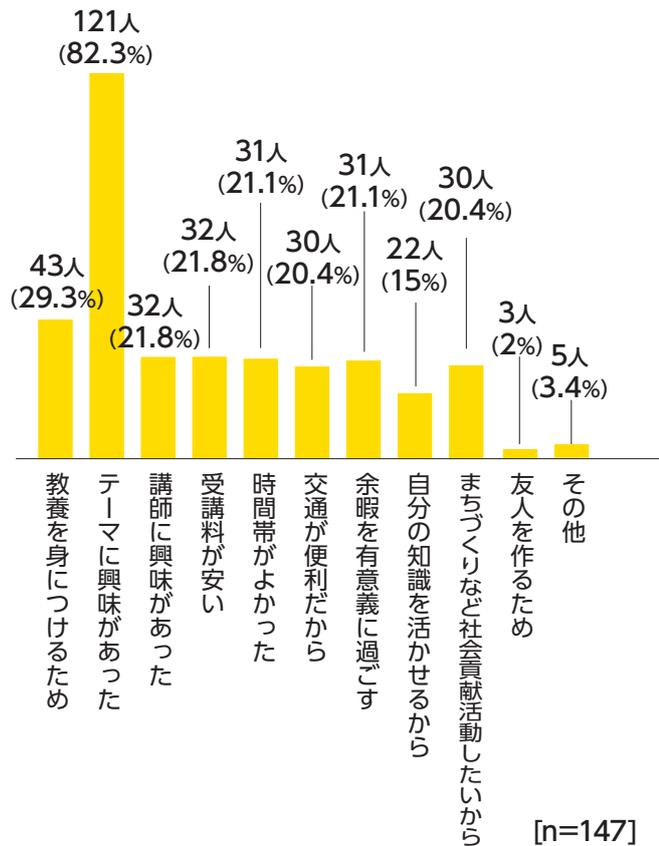
どちらかといえば、
そう思わない
7人(4.7%)



[n=149]



受講動機はなんですか？



[n=147]

受講者の声 (アンケートより)

- 👉 やりたいことの実現に向けて、前進することができました。
- 👉 各講師の方々、皆さん個性や専門性が立っていて引き付けられました。
- 👉 いちようカレッジで学んだ知識を色々な人に伝えていきたいと思いました。

令和4年度 いちょうカレッジの募集について

令和4年度のいちょうカレッジのご案内は、総合生涯学習センターのホームページ・SNSや、大阪市内の市民学習センター・区役所・区民情報センター・図書館等で配架予定の総合パンフレット・各コースの個別チラシをご覧ください。



HP:大阪市総合生涯学習センター「いちょうカレッジ」

<https://osakademanabu.com/about/college/>



Facebook

<https://www.facebook.com/icho.college.OSAKACITY>



お問い合わせ



大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500(大阪駅前第2ビル5・6階)

TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

<https://osakademanabu.com/umeda/>

開館時間 午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)

休館日 毎月第1・第3月曜日/年末年始(12月28日～1月4日)

令和3年度 大阪市生涯学習まちづくり市民大学
「いちょうカレッジ」報告書

編集・発行 大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)
大阪市北区梅田1-2-2-500

発行日 令和4年3月



いちょう カレッジ

OSAKA CITY

● 主催 ●

大阪市立総合生涯学習センター

(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)